

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業	環境衛生対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	害虫駆除事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	業務委託による駆除業務（4月中旬～10月末・車両3台 作業員8名） 分室（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） 女木島については地元住民に駆除を依頼（5月～9月） 蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応		
	業務委託による駆除業務（4月中旬～8月末・車両3台 作業員8名） 職員（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） 女木島については地元住民に駆除を依頼（5月～9月） 蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
委託業者作業箇所数	箇所			160,975	5,000	159,000

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
衛生害虫（主に蚊）媒介感染症罹患患者数（海外渡航後発症等を除く）	人	目標値			0	0	0
		実績値			0		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 現時点では、年間1桁程度の日本脳炎の国内発生以外には、衛生害虫（主に蚊）が媒介する感染症は発生していない。そのため、成果指標としている患者の発生がないのが、薬剤散布の成果とみなす根拠とならない。しかし、この事業の目的は患者発生の未然防止と判断したからである。							(達成度)
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	58,908	60,982	44,542	43,670
（事業費）	[円]	34,551	35,648	34,336	33,464
（職員人件費）	[円]	24,357	25,334	10,206	10,206

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成 28年度は委託開始が5月中旬となったため、4月中は、市民の方からの苦情が認められた。蚊の駆除に対する要望は、随時寄せられていることから、事業の継続は必要と考える。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

駆除の必要性の再検討や駆除箇所の精査等により、コストの削減及び事業規模の縮小化を図りつつ、今後も引き続き、市民の快適な生活環境を維持できるよう事業の実施に努め、事業実施体制を検討していくことが必要である。